



Title	開会の挨拶に替えて「世界保健テーマの意義」
Author(s)	関, 淳一
Citation	目で見るWHO. 2014, 54, p. 7-7
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/86702">https://doi.org/10.18910/86702</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 開会の挨拶に替えて 「世界保健テーマの意義」

公益社団法人 日本WHO協会 理事長  
**関 淳一**



マーガレット・チャンWHO事務局長は、2013年4月7日の世界保健デーのスピーチの中で、2013年のテーマとして「高血圧」を選択した理由、背景等について以下のように述べています。

「世界中で、私たちの生活環境は急速に変化している。人々の健康は、特に次の三つの要素により影響を受けています。①人口の高齢化②急速な都市化③非健康的なライフスタイルのグローバル

化であり、特にライフスタイルの変化としてファスト・フードの利用などによる食事の変化や車の利用増加による運動不足などがある。世界中が一見豊かになったように見えるが、実は共通の健康課題に直面していると言える。それは世界の死亡原因として、心筋梗塞、脳卒中、癌などのいわゆるNCDsが上位を占める様になり感染症を凌駕した事実をあげることができる。特に、その中で、心・血管病変については、そのリスク要因の最たるもののが高血圧である。現在、高血圧の人は10億人と推定されている。しかし、ここで大事なことは、高血圧がいつまでもリスク要因の上位にあってはならない点である。なぜなら、高血圧は予防・治療が可能であるからである。一方、見逃されたり、治療されずに放置されると、冠動脈のバイパス手術や、透析などが必要となる。早く対応することにより、膨大な医療費の削減にもなる。」

今日は、マーガレット・チャンのスピーチの趣旨も踏まえて、「高血圧サイレントキラーの正体」と題したフォーラムを開催致しました。講師のお二人の先生は、各々の分野で現役として第一線で活躍中の方々です。今日のテーマにふさわしい興味あるお話を聞きできると思います。